

## 原料費調整制度に基づく2022年7月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年7月検針分の単位料金を、2022年6月検針分と比べ、1 $\text{m}^3$  (45MJ) につき2.59円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年2月～2022年4月の平均原料価格が91,600円/t (原料費調整の上限値) を超えたため、計算上は平均原料価格を91,600円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に30 $\text{m}^3$ のガスをお使いになる標準家庭で2022年6月検針分と比較して、78円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年7月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)					
	料金表A 0～20 $\text{m}^3$	料金表B 21～80 $\text{m}^3$	料金表C 81～200 $\text{m}^3$	料金表D 201～500 $\text{m}^3$	料金表E 501～800 $\text{m}^3$	料金表F 801 $\text{m}^3$ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/ $\text{m}^3$ )	175.87	161.02	158.82	155.52	146.72	139.02
(参考) 6月 調整単位料金	173.28	158.43	156.23	152.93	144.13	136.43

### 2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 30 $\text{m}^3$ (45MJ/ $\text{m}^3$ )	(消費税込)		
	2022年 6月	2022年 7月	増減
適用料金(円/月)	5,808	5,886	78

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年1月～2022年3月 の平均 (6月検針分)	2022年2月～2022年4月 の平均 (7月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	88,650	94,380	5,730
LNG	88,180	93,910	5,730
LPG	92,790	98,180	5,390
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	31,400	37,100	5,700

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{93,910} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{98,180} \times 0.0546 \end{aligned}$$

**94,377.91**

↓(10円未満四捨五入)

**94,380** 円/t

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{91,600} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{34,350} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

**34,300** 円/t

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{34,300} \text{ 円} \quad /100 \text{円} \times 0.0891^{*1}$$

$$= \boxed{30.56} \text{ 円}^{*2}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2022年 6月	2022年 7月	増減
適用料金(円/月)	5,808	5,886	78

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,056.00円)

$$+ \text{調整単位料金}(\boxed{130.46} \text{円} + \boxed{30.56} \text{円}) \times 30 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

#### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。